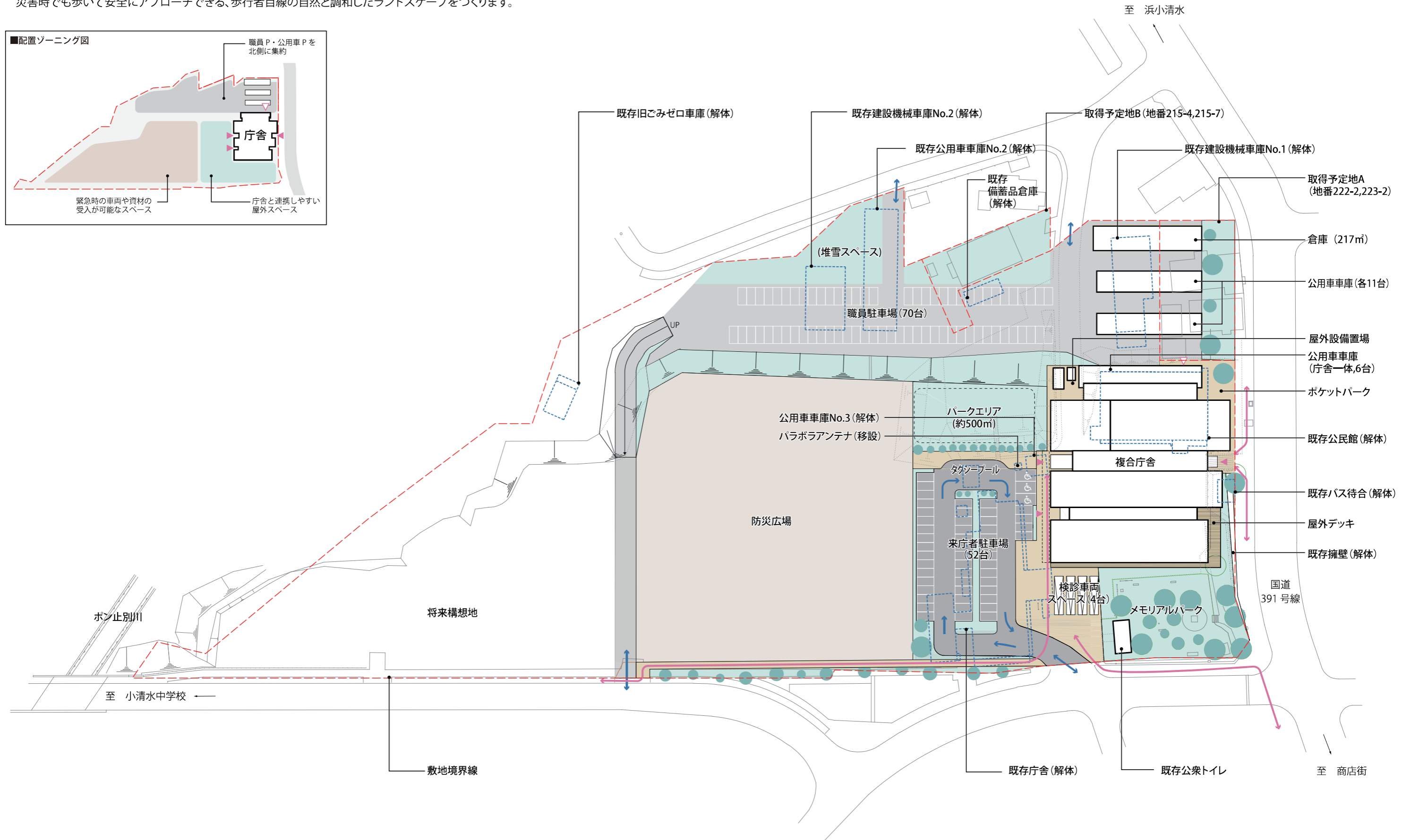
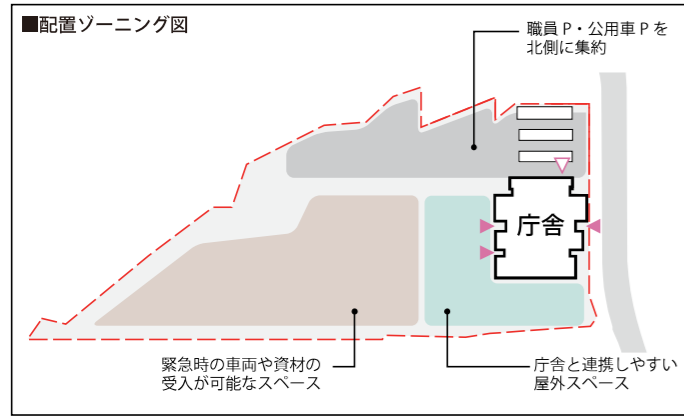


# 歩いてまわれるまちづくりの結節点

まちの各方面からアクセスしやすい国道側に配置し、日常的に町民がにぎわうまちづくりの結節点をつくります。四方に向かって開かれたウラのないつくりとし、将来にわたってまちの拠点として寄与するデザインとします。災害時でも歩いて安全にアプローチできる、歩行者目線の自然と調和したランドスケープをつくります。



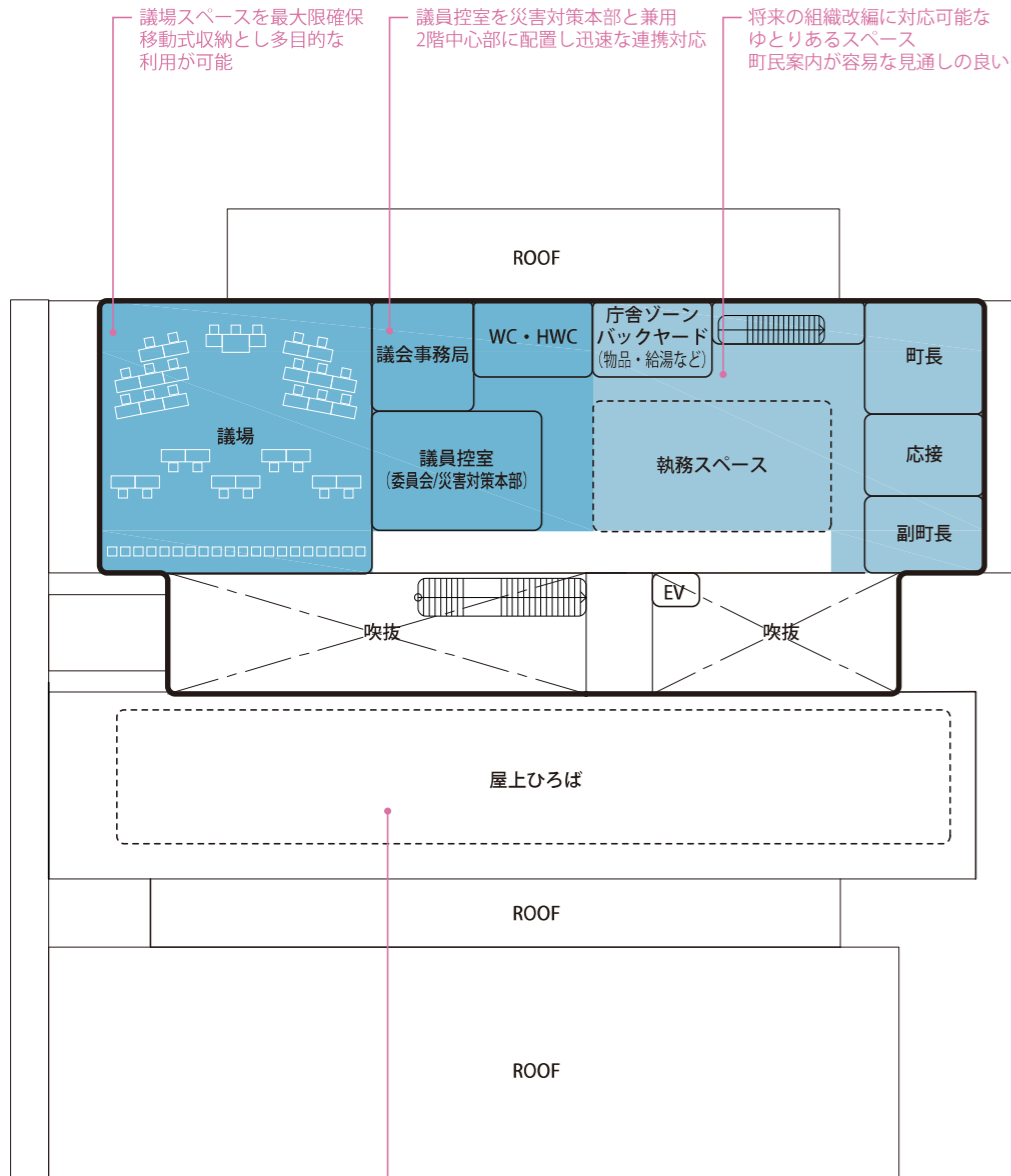
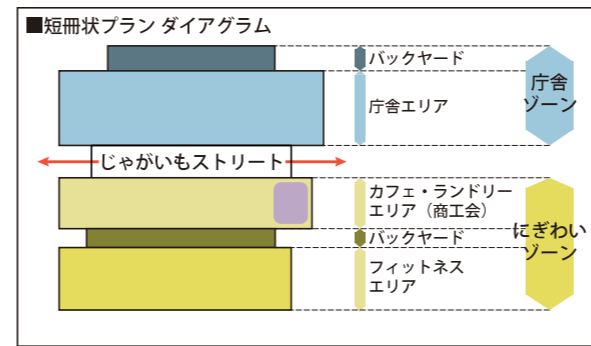
□ 駐車台数 (基本計画)	□ 面積	□ 凡例
来庁者駐車場 52台	敷地面積 約22,462㎡	歩行者動線
職員駐車場 70台	取得予定地A 約858㎡	車両動線
公用車駐車場 6台	取得予定地B 約503㎡	来客出入口
公用車車庫 22台		職員出入口

## まちとつながるコンパクトな複合庁舎

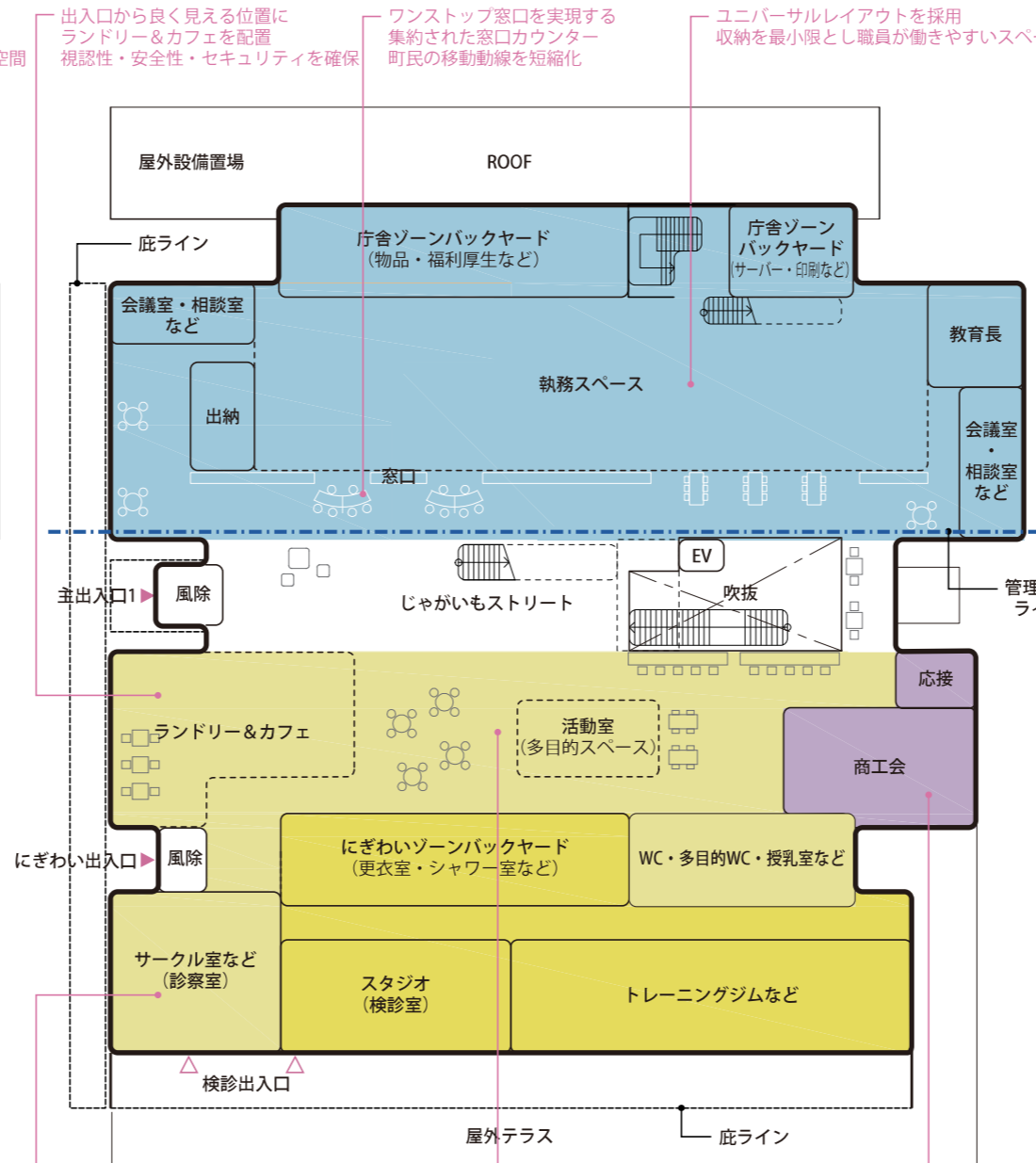
光溢れる「じゃがいもストリート」を建物中央に設け、町民が自由に通り抜け可能な新しいバリアフリー動線となります。建物を親しみやすい小さなボリュームに碎き、商店街から続く間口の小さな地割による街並みを継承します。複数の機能を利用形態に応じて短冊状に並べ、小さく個別に運用可能なエネルギー負荷の少ない建築をつくります。

## 町民が集う“いつもの”居場所

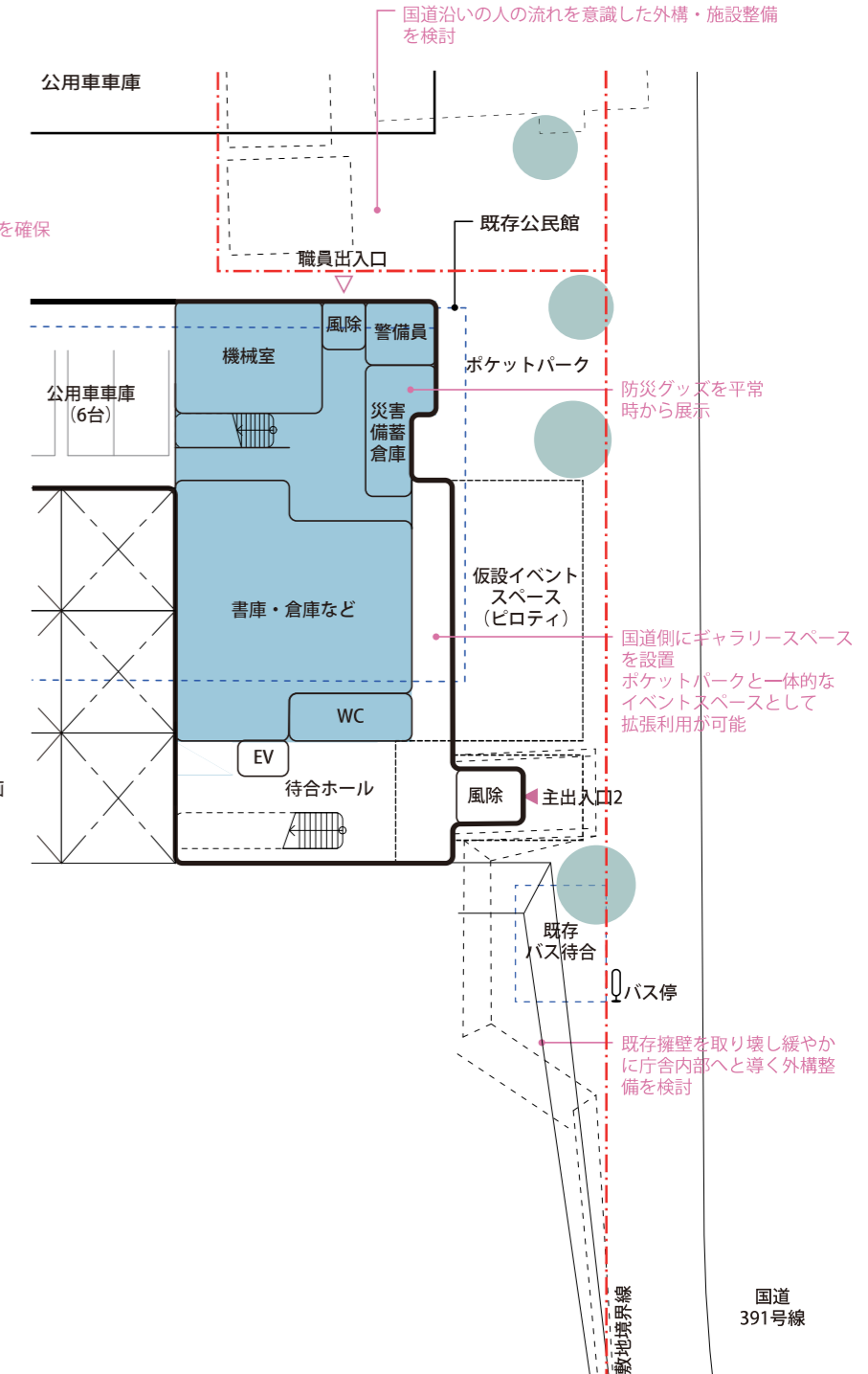
平常時から町民が集い、にぎわう憩いの場をつくります。町民の日常（飲食、洗濯、スポーツ）がこの場所で展開し、日常が集まることでにぎわいを生むサイクルを構築します。災害時にはいつもの場所で一時的に過ごし、助け合うことができる関係性を町民とともにつくります。



■2階平面イメージ



■1階平面イメージ



■地下1階平面イメージ

議場スペースを最大限確保 移動式収納とし多目的な利用が可能

議員控室を災害対策本部と兼用 2階中心部に配置し迅速な連携対応

将来の組織改編に対応可能な ゆとりあるスペース 町民案内が容易な見通しの良い空間

出入口から良く見える位置に ランドリー&カフェを配置 視認性・安全性・セキュリティを確保

ワンストップ窓口を実現する 集約された窓口カウンター 町民の移動動線を短縮化

ユニバーサルレイアウトを採用 収納を最小限とし職員が働きやすいスペースを確保

フィットネスで活用できる屋上ひろばを検討 災害時における町内の状況察知

保健センターの健診機能をにぎわい空間と兼用 上足ゾーンを集約し休憩スペースを削減

移動可能な家具什器による自由なレイアウト イベント時も柔軟に対応

商工会を商店街と連続する国道側に配置 にぎわい空間の運営を担う

■面積表

地下1階床面積: 473㎡
1階床面積: 2,108㎡
2階床面積: 719㎡
延べ床面積: 3,300㎡ (公用車庫: 187㎡)

■凡例

■ 役場庁舎
■ 保健センター (役場庁舎に含む)
■ にぎわいのある空間
■ 商工会事務所

**庁舎ゾーン（執務スペース）の課や諸室の配置、カウンターの形状、また、にぎわいゾーンのランドリー、カフェ、スタジオ、ジムの配置などの詳細は、これから検討を進めます。**



■主出入口よりじゃがいもストリートをみる



■国道側よりじゃがいもストリートをみる



■執務室よりじゃがいもストリートをみる



■国道側より執務スペースをみる